

在学中に受験可能な資格試験	資 格			試験日・申込期間	奨励度	難易度	大学での支援内容		問い合わせ先	備 考 (受験資格・受験料など)
	資格・検定名	概 要	種 別				支 援 概 要	内容科目(参考)		
電気主任技術者	電気工作物の工事、維持、運用に関する保安上の監督責任者(電気事業者は有資格者から主任技術者を選任する)。  三種：電圧が5万ボルト未満の電気工作物 二種：電圧が17万ボルト未満の電気工作物  全国合格率：三種 平均8.56% 二種 3%以下(1~2次試験)	三種	試験日：筆記9月初 申込期間：5月中旬~6月初	A	A ** 注)	法規については、講義科目として設けている。	電気電子計測Ⅰ、Ⅱ 電気回路Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ 電磁気学Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ 電気機器Ⅰ、Ⅱ 電気エネルギー発生 電気エネルギー伝送 電気材料 電気法規・施設管理 電気応用 パワーエレクトロニクス	(一財)電気技術者試験センター 〒104-8584 東京都中央区八丁堀2-9-1 RBM東八重洲ビル8F TEL：03-3552-7651 http://www.shiken.or.jp	電気システムコース・電子情報コースで指定科目を修得し、一種5年、二種3年、三種3年の実務経験があれば申請によって資格が得られる。 <在学時受験可能> 受験料：二種 13,800円 (インターネット) 三種 7,700円 (インターネット)	
			試験日：筆記9月初 口述11月中旬 申込期間：5月中旬~6月初	A	A ***					
電気工事士	二種：一般用電気工作物(住宅・小規模店舗等)の電気工事 一種：自家用電気工作物(工場・ビル等)の電気工事  全国合格率：二種 筆記約60% 技能約70% 一種 筆記約50% 技能約60%強	二種 (年2回実施)	試験日：筆記6月初、10月初 技能7月中旬、12月初 申込期間：3月中旬~4月初 6月中旬~7月初	A	D *		電気電子計測Ⅰ、Ⅱ 電気回路Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ 電磁気学Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ 電気機器Ⅰ、Ⅱ 電気エネルギー発生 電気エネルギー伝送 電気材料 電気法規・施設管理 電気応用	(一財)電気技術者試験センター 〒104-8584 東京都中央区八丁堀2-9-1 RBM東八重洲ビル8F TEL：03-3552-7651 http://www.shiken.or.jp	<在学時受験可能> 受験料：二種 9,300円 (インターネット) 一種 10,900円 (インターネット)	
			試験日：筆記9月下旬 技能12月初 申込期間：7月初旬~8月初旬	A	C **					
電気工事施工管理技士	有資格者は電気工事の施工管理に関し一定の知識と技術力を有する者として建設業界から評価を受けることとなり就職に有利となる。 また、この試験の合格者は卒業後所定の実務を経て実地試験のみの合格で有資格者となる。  全国合格率：2級 20%台		試験日：11月初旬	B	C **		電気電子計測Ⅰ、Ⅱ 電気回路Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ 電磁気学Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ 電気機器Ⅰ、Ⅱ 電気エネルギー発生 電気エネルギー伝送 電気材料 電気法規・施設管理 電気応用	(一財)建設業振興基金 試験研修本部 〒105-0001 東京都港区虎ノ門4丁目2-12 MTビル2号館 TEL：03-5473-1581 http://www.kensetsu-kikin.or.jp/honbu/	受験料：13,200円 <在学時受験可能> ただし、工業系高校卒業者は1年~4年生まで受験可能。 この他の者は4年時に受験可能という制限あり。	
電気通信主任技術者	電気通信事業に供する伝送交換設備や線路の設備の工事、維持及び運用の監督ができる。  合格率：20.4%(H21) (年間受験者：約7,400人)	伝送交換	試験日：7月、1月 申込期間：4月、10月 申込方法：郵送またはインターネット	A	**	試験科目(電気通信システム、法規、伝送交換設備または線路設備、設備管理、専門的能力)講義時解説等実施	電気電子計測Ⅰ、Ⅱ 電気回路Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ 電磁気学Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ マテリアル基礎 通信基礎 組み込みシステム	(一財)日本データ通信協会 電気通信国家試験センター 〒170-8585 東京都豊島区巣鴨2-11-1 巣鴨室町ビル6階 TEL：03-5907-6556 http://www.dekyo.or.jp/	受験資格制限無し 受験料：18,700円	
		線路		B	**					
工事担任者AI種	AI：アナログ電話及びISDNに関わる端末設備等の接続工事 DD：デジタル伝送サービスに関わる接続工事 AI・DD総合種： AI第一種とDD第一種の両方の工事範囲  合格率：28% (年間受験者：約5万人)	第一種	試験日：5月、11月 申込期間：2月、8月 申込方法：郵送またはインターネット	A	** * *	試験科目(電気通信技術の基礎、端末設備の接続のための技術及び理論、端末設備の接続に関する法規、総合デジタル通信(ISDN)の技術、ネットワークの技術、情報セキュリティの技術)講義時解説等実施		<学内>中城	受験資格制限無し 受験料：8,700円	
工事担任者DD種		第二種		A	** * *					
工事担任者AI・DD総合種		第三種		A	***					
特殊無線技士	特殊無線技士には以下の各級があり、無線技術士、通信士に比べて下級の資格となる。  ・陸上特殊無線技士(一級~三級) ・海上特殊無線技士(一級~三級) ・レーダ級特殊無線技士 ・航空級特殊無線技士 ・国内電信級特殊無線技士		試験日：6月、10月、2月の3回  受付期間：上記試験前の4月、8月、12月	B	B~C *	関連科目授業において解説等実施。	電気電子計測Ⅰ、Ⅱ 希望者には補講を実施	免許の申請先： 北陸総合通信局：076-233-4461 関東総合通信局：03-6238-1749 信越総合通信局：026-234-9967 東海総合通信局：052-971-9186 近畿総合通信局：06-6942-8550 国家試験の問い合わせ先： (公財)日本無線協会 http://www.nichimu.or.jp/	受験資格制限無し 受験料： 第一級陸上特殊無線技士 5,362円 第二級海上特殊無線技士 5,162円	
陸上無線技術士	(第一級)放送局(テレビ、ラジオ)、固定局、無線標識局、などの無線設備を操作するための資格。 合格率：約15%  (第二級)小・中規模放送局、航空用無線航行局などの無線設備を操作するための資格。合格率：約15%		試験日：7月、1月の2回  受付期間：上記試験前の5月、11月	B	A ***	同上	同上	同上  <学内>中城	受験資格制限無し 受験料：(第一級)13,962円 (第二級)11,862円	

注) 難易度欄 \* 1、2年次で受験でき、さらに上級資格に繋がる比較的取得し易い資格  
 \*\* 就職に有利な資格で3年、4年前期に受験して欲しい資格  
 \*\*\* 難易度が高く優秀な学生に取得推奨

在学中に受験可能な資格試験	資 格			試験日・申込期間	奨励度	難易度	学内での支援内容		問い合わせ先	備 考 (受験資格・受験料など)
	資格・検定名	概 要	種 別				支 援 概 要	内容または科目		
在学中に受験可能な資格試験	基本情報技術者	情報を扱うシステムエンジニアになるために必要な知識内容の試験である。出題範囲としては、情報処理分野における基本的な内容だけでなく、プログラミング言語によるソフトウェア開発および関連アルゴリズムなどの実務的な問題も含まれている。このため、この資格取得が情報システム関連企業への就職を目指す際には登竜門となる。国家試験であり、全国合格率は25%程度		試験日：【春】4月第3日曜日 【秋】10月第3日曜日 申込期間：【春】1月中旬～2月中旬 【秋】7月中旬～8月中旬	A	**	試験内容と密接に関連した講義および演習を多数開講している。 「コンピュータ基礎」、「コンピュータ言語Ⅰ、Ⅱ」、「組み込みシステム」、「コンピュータアーキテクチャ」、「ソフトウェア工学」		(独)情報処理推進機構 https://www.ipa.go.jp/ 〈学内〉西田	受験資格の制限なし 受験料：5,700円  本学にて受験可 (福井県の試験会場は本学である。)
	応用情報技術者	ソフトウェア開発過程において必要な知識をどの程度理解しているかを問われる試験である。従来のソフトウェア開発技術者とほぼ同様な出題範囲であるが、近年の情報処理機器および技術の高度化に伴い、情報系の会社では入社後に、この資格取得を強く推奨される場合も多い。国家試験であり、全国合格率は20%程度			B	***	試験内容と密接に関連した講義および演習を多数開講している。 「コンピュータ基礎」、「コンピュータ言語Ⅰ、Ⅱ」、「組み込みシステム」、「コンピュータアーキテクチャ」、「ソフトウェア工学」			
	ITパスポート検定	職業人が共通に備えておくべき情報技術に関する基礎的な知識を問う国家試験である。ストラテジ系、マネジメント系、テクノロジー系のいずれの知識においても基礎的な用語・概念などの理解を問うことを主眼としている。ビジネス社会で情報処理技術を活用したい人には推奨の資格である。試験は165分間の多肢選択式(100問)である。合格率：45%程度		試験日：4月第3日曜日 10月第3日曜日 (C B T方式導入後は、随時実施) インターネットでの申込期間： 1月17日～2月22日 7月12日～8月17日	A	*	関連科目授業において解説等実施。 「コンピュータリテラシーⅠ、Ⅱ」、「コンピュータ基礎」、「コンピュータ言語Ⅰ、Ⅱ」、「コンピュータアーキテクチャ」、「ソフトウェア工学」			受験資格の制限なし 受験料：5,100円  パソコンを用いて試験を行う C B T (Computer Based Testing) 方式で受験する。 受験場所は左記URL参照
	G検定 (JDLA Deep Learning for GENERAL)	ディープラーニングの基礎知識を有し、適切な活用方針を決定して、事業活用する能力や知識を有しているかを検定する。		試験日：3月、7月、11月	A	**	試験内容に関連した講義を開講。 「人工知能」  人工知能(AI)とは(人工知能の定義) 人工知能分野の問題 ディープラーニングの概要 ディープラーニングの社会 実装に向けて		(一社)日本ディープラーニング協会『G検定 試験事務局』 Mail: jdl@jtp.co.jp TEL: 03-6408-1738 (電話対応は試験当日のみ、11:00～16:00)	受験資格の制限なし 受験料：一般 13,200円(税込) 学生 5,500円(税込)

注) 難易度欄 \* 1、2年次で受験でき、さらに上級資格に繋がる比較的取得し易い資格  
 \*\* 就職に有利な資格で3年、4年前期に受験して欲しい資格  
 \*\*\* 難易度が高く優秀な学生に取得推奨